



# おおたTSネット拡大定例会vol.24 おおた社会福祉士会6月拡大定例会

「難病×はたらく」を社会的なテーマにするための試行錯誤  
～ “RD ワーカー (Rare Disease Worker)” の可能性～

日時

2026年 6月 26日 (金)

19時00分～21時00分 (18時30分開場)

場所

大田区障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ3階集会室  
& Zoom (Web会議システム)

住所: 大田区中央4-30-11  
交通: JR大森駅西口から徒歩20分  
(大森駅・池上駅・荏原町駅・蒲田駅よりバス)

参加費

無料

ゲスト  
スピーカー

しげみつ たかゆき

重光 喬之

(NPO 法人両育わーんど 理事長)



あたらしい  
はたらくを、  
ここから。

定員

会場 54名 Zoom 100名 (先着順)

申込方法

どなたでも参加できます。参加ご希望の方は、二次元コードあるいは「会場 or Zoom」「お名前(ふりがな)」「メールアドレス」「ご所属(任意)」をご記入いただき、メールまたはFAXにて6月25日(木)までに事務局までご連絡ください。

情報保障

自動字幕機能  
(Zoom)

参加申込  
QRコード



<https://bit.ly/42mYduF>

【概要】

医療・福祉、テクノロジーや就業形態が進展、多様化してきた今だからこそ「難病と就労」が新たに社会的なテーマになろうとしています。近年、地方行政を中心に難病者を取り巻く就労の制度も進展し始めたからこそ、認知も大切だと考えます。そこで私たちは、RDワーカーという言葉 を提唱し、仕組みと制度の両面で難病者と社会の可能性を広げるために、あの手この手で活動しています。制約がある難病者が働きやすい社会は、誰もが柔軟に働ける社会になると私たちは信じています。

【ゲストスピーカー・プロフィール】

NPO法人両育わーんど理事長、多摩大学大学院医療・介護ソリューション研究所フェロー、聖マリアンナ医科大学研究員。20代半ばに脳脊髄液減少症を発症し、二度の退職と寝たきり5年を経て、時間的柔軟性のある働き方の社会実験中。主な症状は24h365dの疼痛で、痛みのストレスで円形脱毛症とせっかちさに拍車が掛かる。(共著)『語りの場からの学問創成』(京都大学学術24/3/31)



地図



お申し込み・お問い合わせ



おおた社会福祉士会事務局(生駒)  
メール otachikukai@yahoo.co.jp  
FAX 03-3774-2955 電話 090-2147-7073

Facebookもチェック



※収集した個人情報は本イベント事務手続きにのみ使用し、それ以外の目的に一切使用いたしません。